

平成 25 年度第 1 回 八戸市虐待等防止対策会議 会議概要**▼ 開催日時・出席者**

日 時： 平成 25 年 12 月 2 日（月） 14：00～15：10

場 所： 市庁別館 8 階研修室

出席者： 以下のとおり

出席委員（12名）	安田 真（会長）	清水 博己
	柳澤 沙季子（副会長）	高橋 育子
	泉館 三枝	新原 秀郎
	山本 裕幸（代理）	分枝 勝則
	小西 秀明	前田 由美
	奥瀬 敦子	中川原 泰彦

欠席委員（1名） 天摩 雅和

庁内関係部署職員 加賀福祉部次長兼こども家庭課長、こども家庭課職員 3 名
 梅内福祉部次長兼障がい福祉課長、障がい福祉課職員 2 名
 高齢福祉課 職員 1 名
 健康増進課 職員 1 名
 教育指導課 職員 1 名

事務局 長久保次長兼福祉政策課長、壬生主査

▼ 会議内容**■次第**

1 開会

2 議題

案件 1：八戸市配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画の進捗状況について

案件 2：虐待等防止対策会議の今後の運営体制について

3 その他

4 閉会

■議事の概要

- ・ こども家庭課より、対策会議で検討された「八戸市配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画」の進捗状況についての説明があった。
- ・ 福祉政策課より、対策会議の今後の運営体制について説明し、内容について意見交換を行った。

■案件の内容（まとめ）

案件 1：八戸市配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画の進捗状況について

- 資料に基づき、八戸市配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画の進捗状況についての説明があった。意見や質問等は無し。

案件 2：虐待等防止対策会議の今後の運営体制について

- 資料に基づき、虐待等防止対策会議の今後の運営体制について説明し、その後、意見交換を行った。主な意見・質問は以下のとおり。

<主な意見・質問>

- ・（委員）要保護児童対策地域協議会の性格を持たせるのは、対策会議本体かケース会議か。また、市こども家庭課と八戸保健所では、月 1 回定例、現場レベルのケース会議を開いているが、今日提示された案では、①現場レベルのケース会議、②対策会議の部会、③対策会議の本体という 3 層構造になり、棲み分けが分かりにくくなるのではないかと。
⇒（福祉政策課）要保護児童対策地域協議会の性格をどこが持つかは、今後、検討させていただきたい。また、各課が関わっている各種会議の棲み分けについては、各課と十分に協議し、なるべく運営に支障が出ない体制を整えたい。
- ・（委員）来年度の話になるが、対策会議本会議と個別の部会（ケース会議）は、それぞれ別の日に開催する予定か。委員は何かと多忙な人が就任すると思うので、できるだけ同日に開催する方が良いと思う。
⇒（福祉政策課）承知した。各課とも協議し、開催方法を検討したい。

その他

- いじめ対策の部会については、いじめ防止に関する法律の施行に伴い、教育委員会において新たな附属機関の設立を検討していることから、今後は教育指導課と連絡を密にして、運営体制のあり方を検討していくこととした。
- 関係団体、関係機関に対する次期委員の推薦については、今年度中に行う予定の委員構成の再編に基づき、来年度になってから行うこととした。